### **シュラウド（Shroud）**

**– 戦術支援型パワードスーツユニット**

シュラウドは、クリオス自由都市連合の一部地域にて目撃された**大型パワードスーツ「ファウスト」への随伴を前提に設計された軽量戦術支援機**であり、ファウストの戦術能力を最大限に引き出すための支援ユニットとしての運用が確認されている。開発元は同様にヤファル・インダストリー クリオス支社であり、同支社が行っていたファウスト系列の運用試験の一環であると推定されている。

本機は**中・遠距離攻撃に対する防御、およびファウストの行動補完を主目的とした随伴支援機**で、通常は**1機のファウストに対し4機のシュラウドが随伴**する構成を取る。機体は人間サイズに近いコンパクトなフレームを採用しつつも、**装甲・反応速度・陣形制御において高い性能を発揮**する設計がなされている。

主武装は可変式ビームライフルおよび近中距離散弾兵装、さらに展開型の小型エネルギーシールドを搭載し、**ファウストに対する砲撃や空爆に対する“盾”としての役割も担う**。また、システム内には**固定陣形制御モードと動的自律陣形モードの両方が存在し、敵の配置や地形に応じて陣形を柔軟に変更しながらファウストの行動ルートを確保・防衛する**ことが可能である。

注目すべきは、シュラウドに搭載された**試作型の学習型戦術AI**である。このAIは戦闘を通じてデータを蓄積・最適化し、逐次的にアルゴリズムの精度を向上させる設計となっており、実戦で得た戦闘データをファウストとリンクしてフィードバックする機能を持つ。  
 さらに、**戦場での情動的変化に近い反応パターンの変動**が複数回観測されており、例えばファウストが被弾した瞬間や、圧倒的な火力差を察知した際などに、シュラウド群が一斉に**“防衛的攻勢モード”に切り替わる現象**が確認されている。これらの挙動は、従来の命令駆動型AIでは説明がつかず、**ある種の“共感的リンク”が存在する可能性**も指摘されている。

開発者や操縦者に関する公式な情報は一切開示されておらず、シュラウドの全体設計思想、およびその自律的行動の根拠は現在も不明。いずれにせよ、ファウスト単体での脅威に加え、**本機のような随伴機の存在が“戦術単位での兵器”としての完成度を高めている**ことは間違いない。